



月例山行

多度山 403m 1月11日

参加者：中村、柴橋、水谷、畠中、織田

▲ 7:15 名城公園集合。穏やかな曇り空。一般道で多度に向かった。8:25 健脚コース登山口に近い愛宕神社駐車場に駐車。8:35 登山開始。尾根に出るまでは、樹林帯の急な登りを進んだ。8:50 五合目で休憩。その後、木の階段が少なくなり砂利が多くなりだした。合目表示の近くには大小様々なケルンが作られていた。9:25 多度山上公園の芝生広場に出た。



▲9:35 高峯神社や休憩所がある多度山山頂に到着。東に眺望が開け、木曾三川と濃尾平野が眼下に広がり、名駅の高層ビル群も遠望できた。ほどなく天気が急変し、寒風が吹き細かな霰が舞いだした。昼食休憩もほどほどに9:55 下山開始。ウッドチップが敷いてあり、多少のアップダウンのある瀬音の森コースを進んだ。10:15 中道コース分岐から中道登山コースを下った。比較的緩やかな尾根ルートだ。霰は止み、日が差すこともあった。ルート後半には、シダ植物の多さが目を引いた。

▲11:35 獣ゲートに到着し一般道に出た。多度大社に参拝しようとしたが、遠くの階段に続く参道の長蛇の列を見て諦めた。多少の道迷いはあったものの 12:25 駐車場に到着した。天候変化の激しい一日であったが、適度なコース状況で月例山行を楽しむことができた。

——写真：畠中、記録：中村

山頂から名駅のビル群を望む



各地で山火事多発 1月 12日

▲山火事が多発している。ヘリの空中消火でも鎮火は困難。

S46 年には広島で 18 人の消防士が殉職という痛ましい記録も残されている。

山を活動の場とする我々も十分に心ししたい。



スリー・ドッグ・ナイト

アメリカのロック

バンドではない。豪州の先住民アボリジニの言い伝えと言う。1、2 匹では足りない、3 匹の犬と寄り添って眠るほど寒い夜と言う意味。大寒のこの時期にテント旅行をしたことがある。羽毛の寝袋でも地べたに体熱を奪われて眠れない。野宿すると、屋根、壁、布団、水道、トイレ、電気、ガスの有難さが身に染みる… (1/21 中日新聞 夕)。

これが当たり前の日常であろう。冬山の幕営山行、穂高の雪山での 1 週間程の冬合宿は、今思えば大変だった。装備をはじめ食料、情報、車と随分便利、快適になったとつくづく思う。

## 雪山登山の装備一覧

